電気冷蔵庫

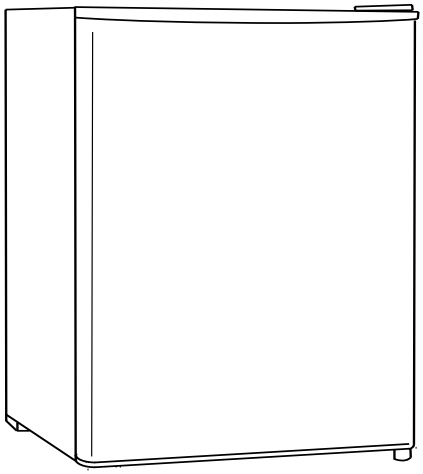
BC-48A
BC-70

取扱説明書

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになった後は「保証書」と共に大切に保管してください。また、わかりやすいところに置いて、必要な時にいつでも見られるようにしてください。

目次

ご利用にあたってご注意願いたいこと・・・・・ 1
各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
こんなときには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
据付けるときは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
ご使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
温度調節のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
氷のつくりかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
霜取りのしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
お手入れのしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13



業務用

ご利用にあたってご注意願いたいこと
（安全上のご注意）

ご使用の前には、この「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関わる重要な内容ですから、必ずお守りください。そして正しくお使いください。

ここに記したのは、冷蔵庫を安全にお使いいただき、あなたや他の人びとへの危害・損害を未然に防ぐためのものです。その内容によって、「警告」と「注意」に区分しています。
それぞれの表示の意味は、以下の通りです。

警 告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

注 意

人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

図記号の意味

「警告」や**「注意」**を促す事項を表しています。

「禁止」を表しています。

必ずしていただきたいことを表しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

「高温注意」を表します。
高温部でやけどする可能性があります。

「感電注意」を表します。
感電する可能性があります。

「破裂注意」を表します。
記載した条件で破裂する可能性があります。

「指づめ注意」を表します。
指や手をはさむ可能性があります。

「回転物注意」を表します。
モーターファンなど回転物があり傷害の可能性があります。

「接触禁止」を表します。
特定した場所に手を触れないでください。

「水ぬれ禁止」を表します。
水をかけることで感電等の危険があります。

「分解禁止」を表します。
分解することで感電・火災等の危険があります。

「発火注意」を表します。
記載した条件で発火する可能性があります。

各部の名称

⚠注意

貯蔵禁止

冷却器にビン類を置かない

中身が凍って割れ、けがをする原因になります。

⚠注意

ぬれ手禁止

冷却器や製氷皿にはぬれた手で触れない

低温のため、凍傷の原因になります。

●ＢＣ－４８Ａ

棚

小物ポケット

ドアパッキング

ドアポケット

冷却器（製氷室）

製　氷　皿

氷をつくるとき

☞１０ページ

調　節　脚

☞８ページ

露　受　皿

霜取りのとき、とけた水を受けます

☞１０ページ

温度調整ダイヤル

☞９ページ

●ＢＣ－７０

小物ポケット

ドアパッキング

棚（移動可）

ドアポケット

棚

調　節　脚

☞８ページ

＊製品は改良のため、イラストと相違することがあります。

⚠警告（安全上のご注意）

据え付け場所を選ぶとき

禁止

次のような場所は避けてください。
・直射日光や風雨にさらされるところ
・たえず湿気のあるところやホコリの多いところ
・潮風や腐食ガスに直接さらされるところ

・ヒーターなどの発熱器具の近くには置かないでください。

万一の地震などによる冷蔵庫の転倒防止の処置をする

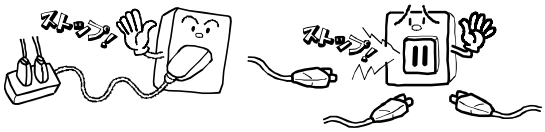
転倒防止する

振動により転倒し、けがをする原因になります。
万一の地震に備えて安全な固定をしてください。

電源は交流100Ｖで定格15Ａ以上のコンセントを単独で使用する

100Ｖ・15Ａ以上

延長コードのご使用、タコ足配線は発熱・火災の原因になります。絶対におやめください。



やむをえず使用される場合はお買い上げ先あるいは電気工事店にご相談ください。

湿気の多いところや水のかかる所には据え付けない

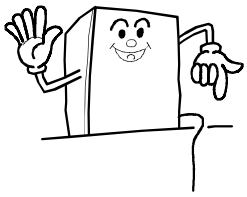
水ぬれ禁止

地面やコンクリート床など湿気が多いところや、水がかかりやすいところは、サビたり、電気絶縁が悪くなり、感電や火災の原因になります。

湿気の多いところや水気のあるところで使うときは、アース（接地）を確実に行う

アース線接続

故障などの漏電により、火災・感電する恐れがあります。
・アース工事は販売店に依頼してください☞７ページ



電源プラグの抜き差しは、必ずプラグを持つ

プラグを持つ

コードを持って抜き差しすると、破損・絶縁劣化などにより、感電や漏電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

根元まで差し込む

差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。

⚠警告（安全上のご注意）

電源コード・電源プラグを傷つけるようなことはしない

禁止

電源コードに重たいものを載せたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、束ねたり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、冷蔵庫の背面で押しつけたりすると、電源コードや電源プラグが破損し、故障・漏電・感電・火災等の原因になります。

傷んだコードや電源プラグ・コンセントの差し込みがゆるい時は使用しない

使用禁止

地面やコンクリート床など湿気が多いところや、水がかかりやすいところは、サビたり、電気絶縁が悪くなり、感電や火災の原因になります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

プラグを抜く

絶縁劣化による漏電、火災の原因になります。
・必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグのほこりは定期的に取る

ほこりを取る

ほこりなどがたまると絶縁不良になり火災の原因になります。
電源プラグを抜いて乾いた布等でふいてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

異常時は電源プラグを抜き、運転を停止する

プラグを抜く

火災・感電・けが等の原因になります。
・必ずプラグを持って抜いてください。

分解・改造・修理をしない

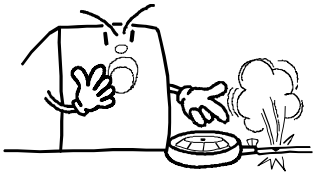
分解禁止

発火したり、異常動作したりして、火災・感電・けが・やけどの原因になります。修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。

可燃性ガス（プロパンガス、都市ガスなど）もれに気づいた時は冷蔵庫や電源プラグに触れず換気する

換気する

すぐにガスの元栓を閉め、窓を開けて換気してください。電源プラグを抜くと火花が生じて引火爆発し火災・けが・やけどの原因になります。



廃棄時など、冷蔵庫を保管する時に幼児が閉じ込められる恐れがある場合、ドアパッキングをはずす

パッキングはずす

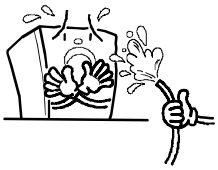
幼児が閉じ込められて、事故の原因になります。
また、幼児が遊ぶところには冷蔵庫を放置しないでください。

⚠警告（安全上のご注意）

本体や庫内に水をかけない

水かけ禁止

漏電による感電・火災・機械部分の故障等の原因になります。



医薬品や学術資料は入れない

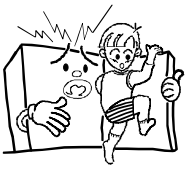
貯蔵禁止

医薬品や学術資料など温度管理の厳しいものは保存できません。

ドアにぶらさがったり、乗ったりしない

禁止

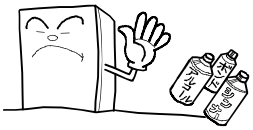
冷蔵庫の安定が悪くなって倒れたり、ドアがはずれたりして、けがをする原因になります。特にお子様にはご注意ください。



引火しやすいものは入れない

貯蔵禁止

シンナー、ベンジン、アルコールなど可燃性のものを機械の近くで使用したり、庫内に絶対に入れたりしないでください。爆発や事故の原因になります。



可燃性スプレーを近くで使わない

使用禁止

「可燃性・火気注意」という表示のあるスプレーを近くで使用しないでください。引火して火災の原因になります。

冷蔵庫の上に水を入れた容器や不安定な物を置かない

禁止

水がこぼれて、電気絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。また、落下して、けがをする原因になります。

異臭がしたり変色したりした食品は食べない

禁止

食品は冷蔵庫に保管していても品質が劣化します。腐敗により、食中毒や病気の原因になります。

⚠注意（安全上のご注意）

冷却器や製氷皿にはぬれた手で触れない

ぬれ手禁止

低温のため、凍傷の原因になります。

冷却器にビン類を置かない

貯蔵禁止

中身が凍って割れ、けがをする原因になります。

食品は棚より前に出さない

禁止

ビン類などが引っ掛かって落下し、けがをする原因になります。

冷蔵庫底面に手や足を入れない

接触禁止

清掃のときに手を入れると、鉄板などでけがをする原因になります。

ドアを開閉するときや、他の人が冷蔵庫に触れているときは、ドアで指をはさまないか確認する

確認する

ドアのすき間に指をはさみ、けがをする原因になります。

背面の機械部分には手を入れたり圧縮機にふれたりしない

接触禁止

運転中は高温になりますので、やけどやけがの原因になります。

こんなときには

停電したとき

・ドアの開閉をできるだけ少なくしてください。
・新しい食品の貯蔵は、庫内の温度が高くなりますので、避けてください。

長時間使用しないとき

・カビやにおいを防ぐために、庫内を掃除した後に、２～３日ドアを開けて乾燥させてください。

運搬するとき・転居のとき

・必ず電源プラグを抜いてください。
・食品を取り出し、露受皿の水を捨ててください。

転居のとき
・横積みしないでください。圧縮機の故障の原因となります。
・５０−６０Ｈｚ（ヘルツ）共用です。

⚠注意

指定場所を持つ

運搬するときは、前面下部と背面上部を持つ

別の場所を持つと手がすべって、けがの原因になります。必ず二人以上で運搬してください。

据付けるときは

1．場所の選び方

・熱気や湿気の少ないところに置く
冷却力の低下をおさえ、電気代のムダを防ぎます。

・床が丈夫で水平なところに置く
振動（騒音）の原因になります。
床がじゅうたん・畳など床面が弱い場合、下側全面にしっかりした板を敷いてください。冷蔵庫底面の熱による変色も防げます。

・周囲にすき間をあける
図のようなすき間をとってください。すき間が少ないと冷却力が低下し、電気代のムダになります。
また壁材が変色したり汚れたりします。
すき間がとれない場合、①②③のような通気孔が必要です。詳しくはお買い上げの販売店までお問い合わせください。

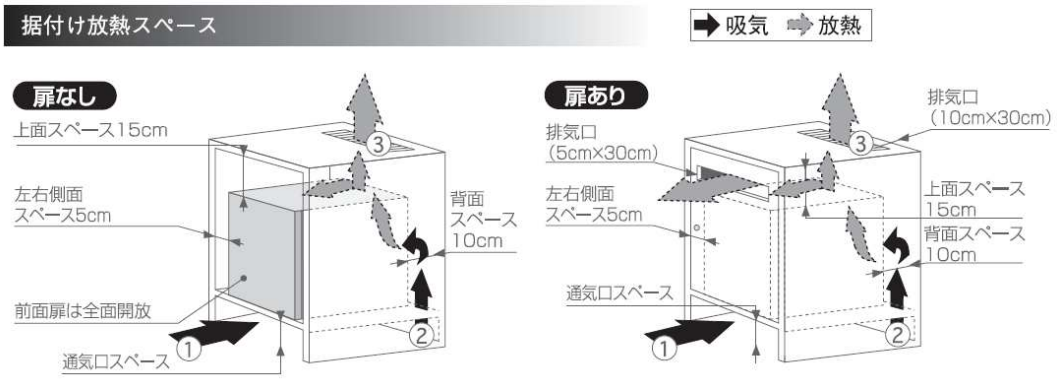
⚠警告

禁止　電源プラグを冷蔵庫の背面で押しつけない。
電源プラグが傷つき、過熱・火災の原因になります。

⚠注意

水平に据付ける　床が丈夫で水平な場所に据付ける。
不安定な場所に据付けますと、冷蔵庫が倒れ、けがの原因になります。

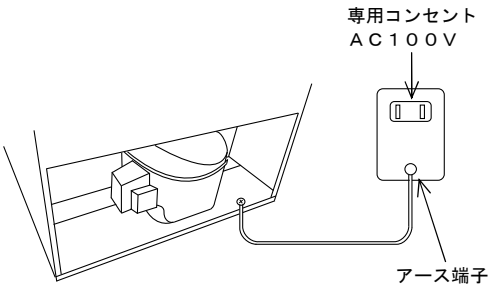
確認する　露受皿が正しく取り付けられているか確認する。
正しく取り付けられていないと、水が漏れ、床や壁を傷める原因になります。



2．アース線の接続について

感電防止のため、アース（接地）することをおすすめします。
次の場所で使うときは、アース（接地）および漏電ブレーカーを取り付けてください。
・地下室など湿気の多いところ
・土間や洗い場の床など水気のあるところ

次のようなところには接続しないでください。
・水道管やガス管（爆発や引火の危険があります）
・電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険です）



コンセントにアース端子がある場合
アース線（付属していません）を使い、背面下部のアース線接続ねじに接続してください。

コンセントにアース端子がない場合
お買い上げの販売店または電気工事店に依頼し、Ｄ種設置工事（有料）してください。

特に水気（湿気）の多いところに据付ける場合
アース（接地）の他に漏電ブレーカーの設置が義務づけられています。取付工事（有料）はお買い上げの販売店にご相談ください。

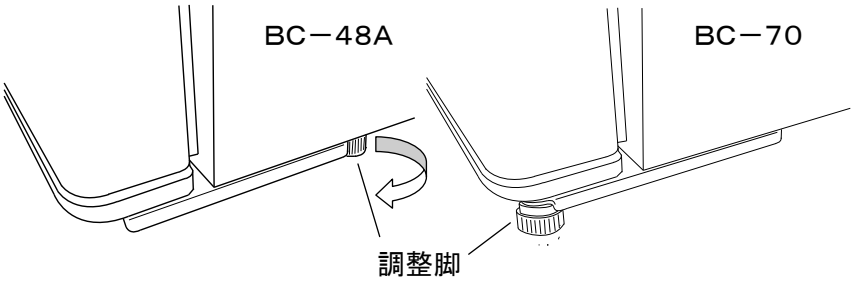
⚠警告

確実に取り付ける　アース線を確実に取り付ける。
アースが不完全な場合、故障や漏電時に感電する原因になります。

ご使用方法

●冷蔵庫を固定する

・調節脚を回して冷蔵庫を
安定させてください
左扉は逆の脚になります。

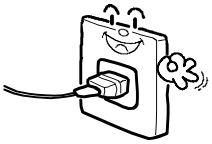


●お使い前の準備

最初はプラスチックのにおいがしますが、冷えると消えます。

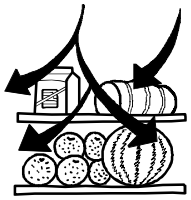
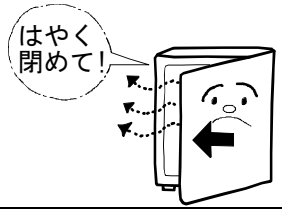
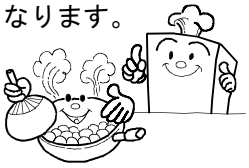
①冷蔵庫の内部を水拭きしてから柔らかい布でから拭きしてください。

②単独で交流１００Ｖ１５Ａの専用コンセントを使用し、電源プラグを根元までしっかりと差し込んでください。



③２～３時間後庫内が十分に冷えてから食品を入れてください。
（夏場は長くなることがあります）

●上手な食品の入れかた

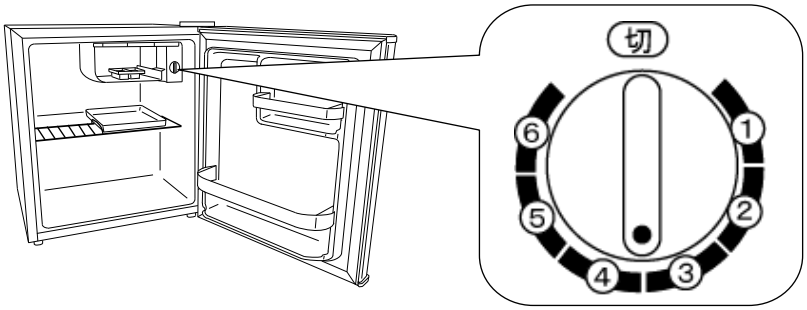
包む	すき間をあける	扉の開閉はてぎわよく
ポリ袋やラップで包むか、密閉容器に入れると、におい移りや乾燥を防げます。 	詰めすぎると冷気の循環が悪くなり、冷えにくくなります 	長い時間開けていますと冷気を逃がします。 
さます	**清潔に**	**冷蔵保存に向かないものもあります**
熱いまま入れますと、他の食品に悪い影響を与え、電気代のムダにもなります。 	ビン類や包装食品類が汚れている場合は、きれいに拭いてから入れてください。 	バナナ・メロン・パイナップルなどのフルーツは食べる前に冷やしてください。 低温のため、熟成しにくくなり、変質することもあります。

温度調節のしかた

●庫内温度は温度調節ダイヤルを、下表を目安に調節してください

表の温度は周囲温度３０℃、食品を入れない状態の安定温度です。
庫内温度は使用状態（周囲温度、ドアの開閉、食品の量、食品のつめ方など）により変わります。

ダイヤル	庫内温度（目安）	使い方
切	・運転を止めたいとき	
１～２	約５～８℃	・冬、春秋の気温の低いとき
３～４	約２～５℃	・通常ご使用になるとき
５	約０～２℃	・貯蔵する食品が多いとき ・特に気温の高いとき
６	・氷をつくる時や急速に冷やしたいとき （ご用がすみましたら、もとに戻してください）	



⚠注意

貯蔵禁止

製氷室にビン類を置かない

中身が凍って割れ、けがをする原因になります。

⚠注意

ぬれ手禁止

製氷室内の食品や容器（特に金属製のもの）にはぬれた手で触れない

凍傷の原因になります。

お願い

・ダイヤルの目盛りを“６”に合わせた時は強力に冷えますので、長時間運転しますと庫内が冷えすぎます。
　また食品が凍結する場合があります。ご用がすみましたら、もとに戻してください。
・冬など周囲温度が５℃以下の場合、食品が凍結する場合があります。
　この様な場合にはダイヤルを“１”側に回してください。
・ダイヤルは“切”から“６”へは回りません。

庫内の食品温度の計り方

庫内の温度は冷蔵庫の据付け状態、外気温や使用条件により変化します。しかし、庫内の食品は８割前後が水分であるため、比熱が大きく、その温度は空気のように大きく変化しません。よって、一般の空気温度を計る温度計では変化の少ない食品温度を測定できません。そこで、空気温度の影響を受けにくく、食品に近い温度を示す冷蔵庫用温度計が市販されています。庫内の食品温度を計りたい場合は、そのような温度計をご使用ください。
なお、一般のアルコール温度計で庫内の食品相当温度を計る場合は、冷蔵庫中段の棚の中央に約１００cc の水を入れた容器を置き、感温部を水中に３時間程浸しておくと、食品に近い温度が得られます。

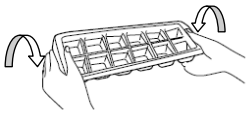
・冷蔵庫用温度計の測定値は、外気温、ドア開閉頻度、設置環境、庫内の冷気対流、圧縮機の運転・停止などの影響を受けて変化しますので、冷蔵庫用温度計の取扱説明書をよく読んでお使いください。

氷のつくりかた

①製氷皿に水を８分目まで入れて、冷却器（製氷室）内に置いてください。
水が多いと氷が離れにくくなります。

②温度調整ダイヤルを“６”にしてください。
製氷後はダイヤルを元の位置に戻してください。食品が凍結することがあります。

・氷のはずしかた
製氷皿をひねってください。



お願い

・アイスボックスで氷をつくらないでください。
アイスボックス自体が割れます。
・製氷皿を図の様な方向に折り曲げないでください。
製氷皿が割れることがあります。

霜取りのしかた

●この冷蔵庫は自動霜取り式ではありません。冷却器に霜が**５㎜ 程度**つきましたら、必ず霜取りをしてください。多量の霜がつきますと冷却能力が低下して、電気代が増えます。

①霜取りをする前に冷却器の食品や製氷皿を取り出してください。
②温度調節ダイヤルを“切”にしてください。

③冷却器の霜がとけて無くなったら、やわらかい乾いた布で、冷却器についている水分をふきとってください。
④露受皿にたまった水をすて、露受皿と庫内についている水滴をふきとってから、露受皿をもとの位置にもどしてください。
⑤温度調整ダイヤルをもとの位置にもどして、冷却運転にしてください。

⚠警告

禁止

霜取り時に冷却器に水やお湯をかけない。

電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

⚠注意

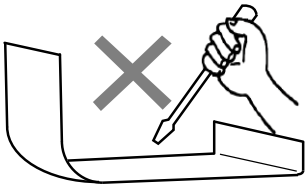
水位を確認する

露受皿の水位をときどき確認する。

霜が多量についてから霜取りした場合、とけた水を全て露受皿で受けきれず、あふれて床をぬらす場合があります。露受皿の水位をときどき確認し、あふれる前に水をすててください。

お願い

・圧縮機に無理をかけないため、温度調整ダイヤルを“切”からもとにもどす場合、５分以上間をおいてください。
・冷却器についた霜をとるのに、ナイフやねじまわし等は絶対に使用しないでください。
冷却器に傷がつき、故障の原因になります。
このような故障の修理につきましては、無償修理の期間中でも有料修理となります。



お手入れのしかた

⚠警告

プラグを抜く

お手入れのときは電源プラグをぬく

感電やけがの原因になります。また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

分解禁止

分解・改造・修理をしない

火災・感電・けが・やけどの原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

接触禁止

冷蔵庫底面に手や足を入れない

鉄板などでけがをする原因になります。

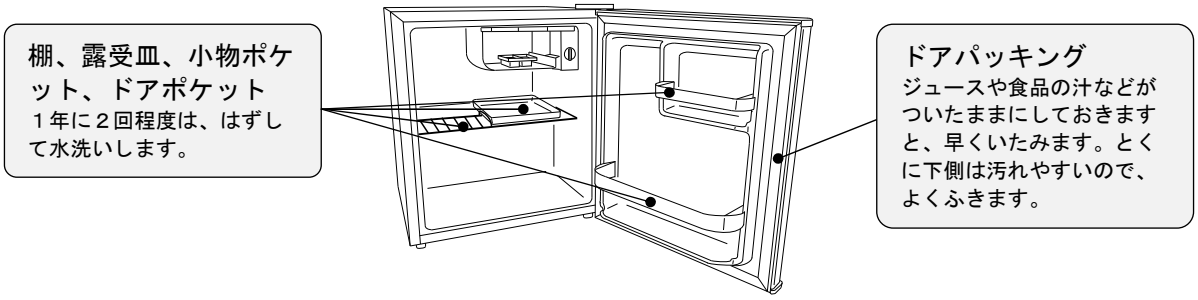
接触禁止

背面の機械部分に手を入れたり、圧縮機にふれたりしない

高温のため、やけどやけがの原因になります。

●お手入れのポイント

・普段はからぶきしてください。



●お手入れの方法

①電源プラグを抜いてください。
②柔らかい布にぬるま湯か中性洗剤を含ませて、ふいてください。
中性洗剤を使用したあとは、必ず水ぶきして、さらにからぶきしてください。

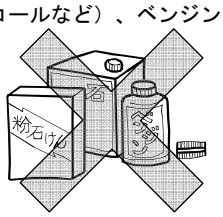
●お手入れ後の点検

感電や火災などの発生を防ぐために、次の点検をしてください。

・電源コードに亀裂や傷がありませんか？
・電源プラグに異常な発熱などがありませんか？
・電源プラグをコンセントにしっかり差し込みましたか？
・もしご不備な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。

お願い

・次のものは使わないでください。塗装面や部品を傷めます。
液性欄にアルカリ性または弱アルカリ性と記載されている洗剤。
（プラスチック部品が割れたり、プラスチックの表面が黄変したりします）
みがき粉、粉石けん、タワシ、アルコール（エタノール・メチルアルコールなど）、ベンジン、シンナー、石油、酸、ワックス、熱湯など。
（プラスチック部品が割れたり、塗装面を傷めたりします）
・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
・食用油およびかんきつ類の皮に含まれる汁が付いた場合は、すぐにふき取ってください。
プラスチックが変色したり、割れたりします。



故障かな？と思ったら

このようなとき	お調べいただくところ
全く冷えない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ・電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか？ ・停電ではありませんか？
よく冷えない	・熱いものを入れたり、扉の開閉が多すぎませんか？ ・食品をつめすぎていませんか？ ・ドアの閉め忘れはありませんか？ ・直射日光があたったり、コンロ・ガスレンジのそばではありませんか？ ・周囲の風通しが悪くありませんか？（７ページ）
食品が凍結する	・温度調節が適切になっていますか？ ・冷蔵庫の周囲温度が５℃以下になっていませんか？
音がうるさい	・床や脚がしっかりしていますか？ ・冷蔵庫が水平になっていますか？ ・壁などにあたったり、周囲にお盆や容器などが落ちていませんか？ ・冷蔵庫の上に物が置いてありませんか？ ・冷蔵庫の運転停止直後や開始時には、圧縮機の音がやや大きくなりますが、異常ではありません。
床面や庫内に水がたまるとき	・露受皿が正しく取り付けられていますか？ ・ドアが半開きになっていませんか？
冷蔵庫の外側に露がつく	・梅雨どきなど湿度が高いとき、外側に露がつくことがあります。これは冷水を入れたコップのまわりに水滴がつくのと同じで、故障ではありません。 露は乾いた布でふきとってください。
ドアが開けにくい	・ドアを閉めた直後にすぐドアを開けようとすると、ドアが重く感じることがあります。これはドアの開閉の際に庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためで、異常ではありません。
冷蔵庫の周囲が熱くなる	・冷蔵庫の周囲には、放熱パイプを内蔵して、冷蔵庫に霜が付くのを防止しています。お使いはじめや周囲温度が高いときなどには、特に熱く感じる場合がありますが、庫内の食品には影響ありません。

●これは故障ではありません。

水の流れるような音などがする	・これは冷凍機の中の冷媒から発生する音で、停止中も出ることがあります。ときどき、きしみ音がすることがありますが、これは冷却器の周辺材料が収縮・膨張するために発生する音です。

以上のことをお調べになり、それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店または、アズワン カスタマー相談センターへ右のことをお知らせください。

お知らせいただきたいこと

①故障の状況（できるだけくわしく）
②品名
③型式
④お買い上げ年月日
（保証書に記入してあります。）
⑤おなまえ、おところ、お電話番号
⑥希望訪問日（引き揚げ修理の場合）

仕　様

品　　番		ＢＣ－４８Ａ	ＢＣ－７０
有効内容積		48L	70L
外形寸法(㎜) （突起物は除く）	幅	450	470
	奥行	450	←
	高さ	510	632
定格電圧・定格周波数		100V･50/60Hz共用	←
定格消費電力		68W	←
消費電力量（目安）		168／174kWh/年	176／184kWh/年
製品質量		14kg	18kg
付属品	製氷皿	1	←
	棚	1	2
	露受皿	1	←

製品保障について

保 証 書

本製品は厳正な検査を経て出荷されておりますが、万一保証期間内に裏面保証規定(1)に基づく正常な使用状態での故障の節は下記保証規定により修理いたします。

品　　名	電気冷蔵庫		
型　　式	BC-48A ・ BC-70	機　　番	
保 証 期 間	お買い上げ日より１年間		
お買い上げ日	年　　月　　日		
お　客　様	様		
ご　住　所	TEL：		
取り扱い店名	担当者印		
住　　所	TEL：		

アズワン株式会社

【保証規定】

（１）弊社商品を、当該商品の取扱説明書所定の使用方法及び使用条件、あるいは、当該商品の仕様または使用目的から導かれる通常の使用方法及び使用条件の下で使用され故障が生じた場合、お買い上げの日より一年間無償修理いたします。

（２）次の場合、保証期間中でも有償修理とさせて頂きます。
- 誤使用、不当な修理・改造による故障。
- 本品納入後の移動や輸送あるいは落下等による故障。
- 火災、天災、異常電圧、公害、塩害等外部要因による故障。
- 接続している他の機器が原因による故障。
- 車両・船舶等での使用による故障。
- 消耗部品、付属部品の交換。
- 本保証書の字句を訂正した場合、購入年月日・購入店の記入がない場合、および保証書の提示がない場合。

（３）ここで言う保証とは、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は、ご容赦頂きます。

（４）本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■商品についてのお問い合わせは

アズワン株式会社

カスタマー相談センター

フリーダイヤル 0120-700-875

FAX 0120-700-763

問い合わせ専用URL http://help.as-1.co.jp/q

受付時間／午前9時～12時、午後1時～5時30分
土･日･祝日及び弊社休業日はご利用できません。

商品改良のため、仕様･外観は予告なしに変更する事がありますのでご了承ください。

20011年12月 第2版　作成